［ 人材開発室 ］

人材開発室

責任者　北島　由紀子(看護部課長)

1 人材開発室開設の経緯

2018年４月、病院組織として人材育成・開発を行う「人材開発室」を開設。2022年には、より効率的・効果的な教育を各部署･病院組織として実施するため、体制を再構築。その後、メンバーの増員と共に、前年度入職者のフォローアップ、新入職員研修の実施等、組織全体で入職者を支援する仕組みづくりに取り組んだ。2023年にはグループ全体の教育システムが導入され、社会人基礎研修・管理職研修をシフトし、より当院の業務に沿った形の研修に注力している。病院における人材開発は、医師の働き方改革や人手不足を背景に、個々の専門スキル向上から組織の全体最適と多職種による協働を中心とした取り組みが重要になってきており、当院でも研修の内容にこれらを散りばめて育成に取り組んでいる。

2 目的・目標

質の高い急性期医療を実践し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

3 構成メンバー

責任者：北島　由紀子(看護部課長)
三輪　友康(臨床検査科技師長)
海野　幸子(診療録管理室係長)
金子　直樹(画像診断部技師長)
鈴木　章之(リハビリテーション科技士長)
渡辺　正子(総務課課長)
島田　李菜(総務課係長)

4 活動内容

●各職員(新入職・役職、管理職・各部署の教育担当者)に対する研修の実施
●人材開発における組織の現状把握・課題抽出・アクションプラン実施・評価
●各部署のOJT・OFF-JTに対するコンサルテーション

5 活動実績

【2025年度新入職員 入職オリエンテーション】
4/2、4/3開催
●「病院職員としての心構え」「これからのチーム医療」
●マナー講習・感染対策・医療安全・チーム医療
●コンセンサスゲーム

【新入職員合同研修】
毎月第３、４土曜日をメインに開催
４月「KYT」
５月「コミュニケーション」
６月「個人情報」
７月リフレッシュ研修「マーダーミステリー」
８月多職種研修「～見て変える視点、知って広げる視野～」
10月「臨床倫理」
11月メンタルヘルス研修「ストレスの特徴を知ろう！/こころのタンクを満たそう！」

【エルダー研修】
2026年４月(2025年度分)開催「職場のスタッフ誰でもエルダー!」

【メンター研修】
４月「みんなで育てよう！ともに学び、ともに育つ」
６月メンターフォローアップ

【教育担当者研修】
４月「効果的に部署教育を進めるための教育計画の立案」
７月教育担当者フォローアップ

【教育担当者フォローアップ研修】
７月「部署教育計画の発表」

【多職種研修】
９月「見て変える視点、知って広げる視野」
９･11月トランスファー研修　体位変換・起居・移乗動作の介助方法
毎月開催　BLS研修

6 今後の課題

研修内容については、新入職員をはじめ4～5年目あたりまでをカバーする範囲で計画し、スキルアップを支援していくラインナップとなっている。また多職種向けにBLS、トランスファーを全職員対象に実施。各研修でとったアンケート結果に応じた研修内容や方法のブラッシュアップを適宜行った。また学研のナーシングサポートは看護師以外の職種でも活用可能なことから、今年度も引き続き部署単位で利用できるよう整備した。

人材開発室のメンバーは主に各部署の所属長で構成されており、スケジュール調整や変更などの対応をフレキシブルに行うことができる。一方で、メンバーが少ないため複数の研修を兼任で対応している現状があり、担当者が不在になった場合のリスクが高く、またノウハウや進め方などが広がっていかないことが懸念される。新規メンバーの参入ハードルを下げ、新しい視点を取り入れ研修のラインナップを増やし、活動の幅を広げていくことが課題である。

（文：臨床検査科 三輪 友康）